

産業保健スタッフ養成のための メンタルヘルス教育プログラム の開発及び検証

東京産業保健推進センター

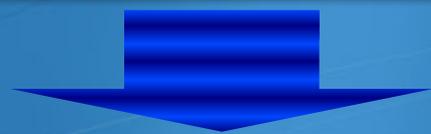
松井 知子(研究代表者)

飯島 美世子 斎藤 照代 角田 透

錦戸 典子 松島 尚子 森崎 美奈子

調査研究の目的

メンタルヘルス業務の経験が浅い
産業保健スタッフに対する
系統的な研修ツールの開発



- 産業保健スタッフの養成課程を含めた**教育プログラム**を開発
- ワークやディスカッション、ロールプレイなど**参加型研修プログラム**

調査研究の流れ

①教育プログラムの検討・作成

平成22年度調査研究結果を踏まえた研修項目を基に、研修教材(パワーポイント)を作成した(検討会議9回)

②実証研修の実施

【対象者】産業保健推進センター開催の研修会受講者(産業看護職・保健師、衛生管理者等)37名

【研修実施方法】基礎編＋演習＋事例検討(計9コマ2日間)

③理解度調査

研修受講者を対象に理解度調査を実施した。(検討会議2回)

④教材の改訂、視聴覚教材の作成

検討結果を基に教育プログラムを改訂した。研修会の補助教材としてDVD教材を作成した。

研修会プログラム(実証研修)

～1日目～ 10/29(土)		
	時間	テーマ
1	10:00～ 10:40	産業精神保健
2	10:40～ 12:10	メンタルヘルス体制、 組織の理解
3	13:10～ 14:50	メンタルヘルス活動に 活かす面接技術 (カウンセリング・コーチング)
4	15:00～ 17:30	面談演習

～2日目～ 10/30(日)		
	時間	テーマ
1	10:00～ 11:00	メンタルヘルス対策 (2～3次予防)
2	11:10～ 12:10	メンタルヘルス対策 (1次予防)
3	13:20～ 15:50	ケースマネジメント (事例検討)
4	16:00～ 17:00	企業のリスクマネジメ ント

成果物（研修教材）の紹介

- CD-ROM（パワーポイント教材集）
- DVD（ロールプレイ実演映像と解説）
- マニュアル（教材のねらいと使用方法）



各推進センター・連絡事務所へ配布済

DVD教材の紹介

「産業保健スタッフによる面接の進め方」
～初回面接のポイント～

■はじめに

■「ロールプレイ」3ケース

（事例の説明、実演、振り返り）

■まとめ （計26分42秒）

「本人からの面談申込」ロールプレイ

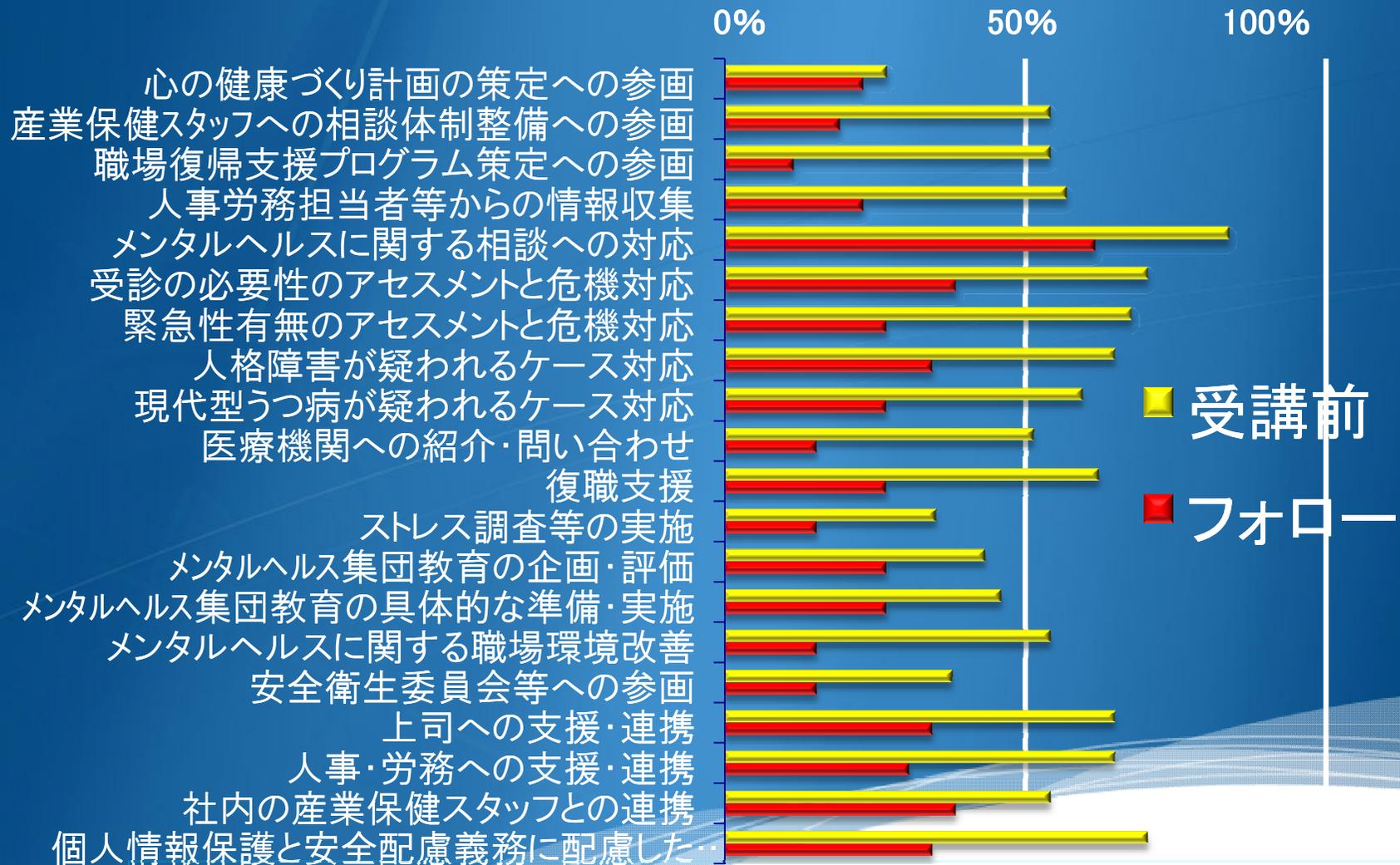
「本人からの面談申込」

ロールプレイ

産業保健スタッフによる面接の進め方「まとめ」

まとめ

メンタルヘルス活動において 「困った経験有」の出現率



～受講前と受講後フォローの比較～

受講後フォロー調査の考察

メンタルヘルス活動において、困った経験の有無が「有」と答えた者の出現率を、「受講前」と「受講後フォロー（4ヶ月後）」で調査結果を比較した。

ほとんどの
活動において、
約50%が
困った経験「有」

全ての活動で
「困った経験」
の出現率が
低下

< 受講前調査 >

< フォロー調査 >

研修会プログラム（短縮版・1日）

平成24年8月25日（土）に当プログラムを用いて
基礎研修会を実施。11月10日（土）にも開催予定。

	時間	テーマ
1	10:00～11:10	産業精神保健 メンタルヘルス体制、組織の理解
2	11:10～12:30	メンタルヘルス対策（1～3次予防）
3	13:30～14:30	メンタルヘルス活動に活かす面接技術 （カウンセリング）
4	14:30～15:00	企業のリスクマネジメント
5	15:15～17:00	ケースマネジメント（事例検討）

研究成果により期待される効果

- 今回開発した教育プログラムを活用することで、系統的なメンタルヘルス研修を行うことができる。
- 研究成果は他の推進センターでも活用できるため、全国で標準的な研修が可能となる。

ご清聴ありがとうございました